

# ひまわり通信



## 後援会ニュース

2021年6月27日  
日本共産党ふじき百合子後援会  
庄原市東本町2-6-6  
☎ 0824-72-3366  
Fax 0824-74-6336

### 緊急事態宣言解除

菅内閣は6月20日、緊急事態宣言を解除（沖縄を除く9都道府県）し、まん延防止等重点措置に移行（広島県、岡山県は除外）しました。

開幕まで1ヶ月となった状況での解除は、オリンピック開催ありきの既定路線だそうですね。観客は1万人を上限に入れるとのことですが、専門家会議の「開催するなら無観客が望ましい」との意見には耳を貸さない姿勢をとり続けています。国民の命よりオリンピックを優先する菅内閣は退場してもらうしかありません。

一方、庄原市も公共施設の利用を再開し、さっそくテニスなど楽しまれたという話を聞きました。

しかし  
感染者もポツポツ



出ているので油断できません。ワクチン接種は進んできていますが、まだまだ集団免疫の効果があるというには時間がかかりそうです。PCR検査を受け易くしワクチン接種が迅速に行われるよう工程表を市民に分かり易く提示する必要があります。きちんとした情報提供を速やかに行うことで不安が軽減されるのではないのでしょうか。

### 「生理の貧困」対策

―庄原市も実施―

一般質問で行う予定の「生理の貧困」対策について6月21日の中国新聞に生理用品を無償配布し相談にも応じる体制を備えたと報道されました。たいへん喜ばしい事だと歓迎します。

「生理用品の無償配布を実現する会」発起人の方が「ジェンダー平等の観点から、女性の生理の問題を提起したいと思っています。生理用品がなければ、すべての女性が学校へも行かれない、仕事もできない日常生活ですらまともにできないのです…。トイレ



にトイレトペーパーがあるように生理用品も」と書かれていました。まずは学校や公共施設のトイレに設置を求めていきます。

と同時に性教育の大切さ、命の大切さを学ぶ教育に力を入れて欲しいですね。

### 傍聴記

2021年(令和3年度) 第一回庄原市総合教育会議

6月10日10時から市長と教育委員4名の参加で開かれ、関心度の高さから傍聴者も多くみられました。

教育長は不在のまま、市長の挨拶、議事進行で始まりました。翌日の新聞にも掲載されましたが、市長は市立小中学校の再編計画を巡り、中学校については計画の見直し、小学校についても「スケジュールありきではないと思う」と見解を述べ、市教委は今後協議していくことになりました。2023年春までに19小学

校を9校に、27年春までに7中学校を4校にするという計画に驚いた市民の方は多かったのではないのでしょうか？

少子高齢化が進む庄原市において学校はとても大切な存在であり地域の存亡もかかっています。どこに居ても、誰でも大切にされ同じ教育が受けられるよう合意して進めていくことが求められています。

### 牧原前教育長の再登板？

総合教育会議での市長の発言の一方で、3月議会での「一身上の都合」により牧原教育長の再任提案を取り下げたにもかかわらず、再び牧原教育長を模索する動きもありました。しかし、市長の発言と牧原前教育長の統廃合計画に関する実績は相反する部分があります。市長は発言に責任を持って教育長の提案をすべきです。



どんなことでも  
お気軽に相談ください  
ふじき百合子  
080-1906-4673